

子供たちの心身の健全な発達のための子供の自然体験活動推進事業

芋ほり体験と歴史ある里山散策

一般社団法人 日本森林インストラクター協会(FIJ) 関東支部 千葉地区委員 神子秀男

【事業のポイント】

- 谷津の風景が残る里山を散策して、燃料革命以前の食糧生産、燃料供給などの拠点だった事を知って貰う。
- 里山の樹木に病気など異常が発生している、現状を観察して、森を守る大切さを感じてもらう。
- 当時が戦国時代の、合戦の場所である事を知らせる
- 当地で栽培しているイモ堀を楽しむとともに、ふかし芋を皆で食べて収穫の楽しさを味わう。



1. 事業の趣旨

(1) 趣旨

当地は、千葉県のセラピー基地に指定された管理施設も充実した安全な場所で、谷津が残り湧水も多く現在も稲作、畑が栽培されている。参加者に低学年が多い事から、里山を守る気持ちを「森の気づき出会いのビンゴゲーム」を使い遊びながら体感してもらう。又当地が里見軍と北条軍が戦った古戦場跡が残っている事から地域の様子を知る事で、伝統と文化を尊重する郷土愛に繋がれば良いと思う。
※「森の気づき出会いのビンゴゲーム」資料として添付

2. 実施概要

(1) 構成団体(運営体制)

(FIJ) 関東支部—関東支部 一指導者グループ—三舟山案内所— 関東支部 一協力：千葉県君津市教育委員会 支援：千葉県森林インストラクター会

(2) 開催実績

| 月日 | 主な活動 | 摘要 |
|--------|------------------------|---------|
| 9時30分 | 受付 検温 名札渡し アンケート作成 | |
| 10時00 | オリエンテーション・アイスブレイキング・体操 | |
| 10時20分 | 三舟山散策出発 | 4班に分かれる |
| 12時10分 | 昼食 | 分かれて昼食 |
| 13時00分 | 班別に芋ほり作業 | |
| 14時30分 | 体験終了 アンケート作成 | 親に引き渡す |
| 15時00分 | 解散 | |
| | | |
| | | |

(3) 具体的な取組の概要

・午前中4班に分かれ、時間差で出発「森の気づき出合いのビンゴゲーム」をガイドに散策する

- ① 山の神に挨拶 山に入るルールの説明
- ② 木の根の不思議、ドングリ類の実の形、紅葉等の説明
- ③ 古戦場跡で歴史を説明
- ④ 展望台で住んでる町君津市を見る
- ⑤ 地元農家の方から、この場所でお米など作っていた谷津の説明を聞く

・午後 芋ほり

- ① 班別に分かれて芋ほり体験
- ② 自分たちが掘った芋を1輪車で集荷
- ③ 芋の泥落としと良い物の選別
- ④ 収穫物の分配は、班別に1個大きい物を選び順番に芋が無くなるまで袋に詰めた。小さい芋は残ると思ったが全てが無くなり、多い人は10個程度の収穫となった。
- ⑤ 収穫後手を洗い、農家の方の好意でふかし芋をご馳走になった。
- ⑥ アンケート作成後終わりの会で、子ども達の感想を聞いた。
- ⑦ お迎えの方に子ども達を引き渡し終了

3. 成果と課題

(1) 事業の成果と課題

・成果 コロナ禍の中で君津市に限定した募集で、集客が心配されたが22名の参加で終了した。

- ① 君津市教育委員会の協力が得られた。
- ② 地元の農家の方からサツマイモ畑を提供して頂き、里山の現状を子どもの前で話してくれた。その場でのおかし芋は最高の御馳走で、皆の笑顔があふれていた。
- ③ 秋の紅葉を楽しみ、特にドングリ類の木の実の説明、葉っぱ遊びを楽しんだ。
- ④ 他のイベントと重なったが、現地の協力と複数回の下見等準備が万全で無事終わった。

・課題

- ① 雨天などの気象異変の対応が必要
- ② 小学校以下の申込者の受け入れ態勢を作りたい。
- ③ 子ども達の飲料水(水筒では足りない)の確保しておく

4. 団体プロフィール

・千葉県森林インストラクター会FIC 南総部会(神子)

FICの地域の部会として、清和県民の森のイベントを年間13回受託している。君津市では小学校のスクリーンミュージアム事業に10年前から参加し、毎年3校の出前授業を行っている。その他、東京大学千葉演習林の案内ボランティア、館山、鴨川等広範囲のFIC野外活動支援を行っている。

・君津市里山管理センター:三舟の里案内所 君津市小香359番1

千葉県からセラピーコースとして指定されている場所で、トイレ等整備された安全な場所です。戦国時代には北条氏の陣が築かれていたと伝わる三舟山は、君津市貞元地区と富津市吉野地区にまたがる標高138mの丘陵となっており、ゆるやかな山道は軽めのハイキングに最高です。